



「民話 ゆうわ座」は、誰もが知っている日本の民話を題材に、みなさんの思いや考えを自由に語り合う場です。「みやぎ民話の会」が 1975 年頃から記録してきた、民話語りの映像や音声を見たり聞いたりします。先祖の声に耳をすませ、民話世界に遊び、心ひかれることを語り合ってみませんか。

◆ 入場無料、直接会場へ

◆ 定員 120 名

◆ 主催

みやぎ民話の会「民話 声の図書室」プロジェクトチーム  
せんだいメディアテーク

◆ 助成 一般財団法人地域創造

◆ お問い合わせ

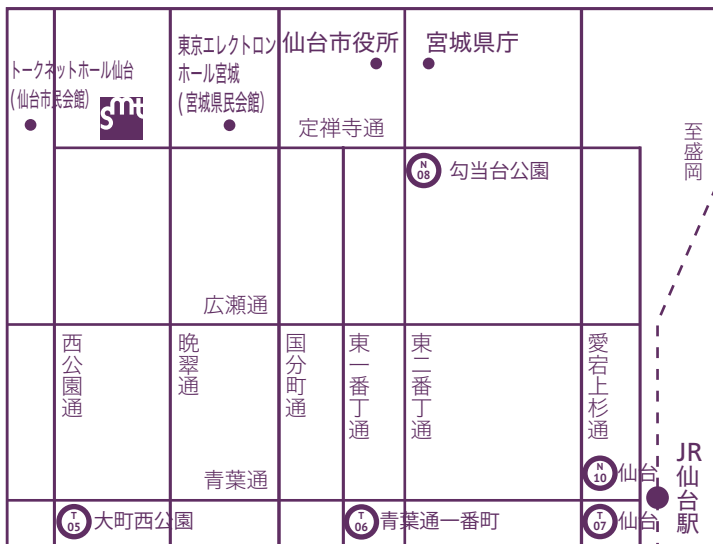
せんだいメディアテーク企画・活動支援室

メール [office@smt.city.sendai.jp](mailto:office@smt.city.sendai.jp)

TEL 022-713-4483



せんだいメディアテーク  
仙台市青葉区春日町 2-1  
TEL 022-713-4483  
<https://www.smt.jp/>



この用紙はリサイクルできます

👂 耳の不自由な方のための

手話通訳

要約筆記

つき



- 話に遊び 輪を結び 座に集う -

## 第九回

# 伝承のみちすじをたどる

― 永浦誠喜さん、伊藤正子さんの語りから ―

永浦誠喜さんと伊藤正子さんは、日本が誇る宮城県の民話の語り手です。二人の語りは源を同じくしており、永浦さんは祖母よふさんからその語りを聞き、伊藤さんは、よふさんの次女である、よしのさんを母として、その語りを聞いて育ちました。同じ話がお二人の暮らしや人柄や性別など、さまざまなことを映して、それぞれの姿で語られます。そうしたお二人の語りを通して聞きながら、話がどのように変わるのか、みなさんと一緒にあじわってみたいと思います。

2022年12月11日〔日〕 13:00-16:00

せんだいメディアテーク・1階オープンスクエア

◎入場無料、直接会場へ

※要約筆記とは、話されている内容（音声）を、その場で要点をまとめ、文字にして伝える通訳です。パソコンのキーボードで入力した文字をスクリーンに投影します。

# 伝承のみちすじをたどる

—永浦誠喜さん、伊藤正子さんの語りから—



これまで「民話ゆうわ座」は、おもに一つの民話をとりあげたり、民話の中の事柄をとりあげて、それについてみなさんと考えてきました。今回は、同じ話はその骨格を守りながら、語り手らしさを映して、それぞれの姿で語られることを紹介します。一つの話でありながら、さまざまな顔を持つ民話の生きた姿を、みなさんと一緒に感じられればと思います。

## 民話ゆうわ座の流れ

「民話ゆうわ座」について 〈進行〉小田嶋利江

語り手 永浦誠喜さん、伊藤正子さんについて 小野和子

語りを聞く 一 〈語り〉みやぎ民話の会会員

永浦誠喜さん（宮城県登米市南方町 明治四十二年生まれ）

「ハチとアリの魚の配分」 語り 寺嶋大輔

伊藤正子さん（宮城県登米市迫町 大正十五年生まれ）

「アリとハチとクモのお伊勢参り」 語り 倉林恵子

語りを聞く 二 〈映像解説〉小野和子

〈ケヤキ買い〉

「ケヤキ買い」伊藤正子さん

「石巻からケヤキ買いに」永浦誠喜さん

〈休憩〉

〈キジも鳴かずば〉

「キジも鳴かずば」永浦誠喜さん

「キジも鳴かずば」伊藤正子さん

〈尻鳴りへら〉

「さいしんへら」伊藤正子さん

「尻鳴りへら」永浦誠喜さん

〈民話を聞き語った思い出〉 永浦誠喜さん・伊藤正子さん

みなさんと感想や意見の交換

### ※「民話 声の図書室」とは…

「みやぎ民話の会」が 1975 年頃から記録してきた、宮城県を中心とする民話語りの映像・音声を、せんだいメディアテークと協働し、だれもが活かせる共有財産として、未来へ受け渡していこうとする活動です。これまでに制作した「伝承の語り手」による民話語りのDVDやCDは、せんだいメディアテーク2f 映像・音響ライブラリーに配架されています。閲覧・貸出が可能です。また、震災前に聞いた「浜の民話」の紹介、民話について自由に考え語り合う「民話ゆうわ座」の企画運営などを行っています。